第1回市民会議(ワークショップ) とりまとめシート
20年後に向けて、今後弘前市が地域全体で取り組んでいくべきこと

A グループ

検討テーマ：ひとづくり

- ・ 行政と民間との協働（垣根を越える）

- ・ 若い人材の育成
- ・ 大学生を無償ボランティアではなく有償アルバイト・スタッフとしての活用へ

- ・ 弘前から芸能人（歌手・お笑い・タレント）を出す「誇りプロジェクト」

- ・ リーダー育成（まずは少数でOK）
- ・ 成功体験（トライ&チャレンジでOK）
- ・ 志を持った人材
- ・ 自ら考え行動し、結果を出す人材

- ・ ホントの（ビジネスなど社会で通用する）人材育成ができる学校
- ・ いつでも考え行動する人材を育成する生涯学習の場

- ・ 小中高校生における福祉・介護・高齢者コミュニケーションの教育

検討テーマ：くらしづくり

- ・ 高齢者は街中で見守るようにすれば交流が出来るのでは？
- ・ 元気な老人を地域で見守る

- ・ 健康な高齢社会（時間的余裕）
- ・ 地域の高齢者が安心・安全・生きがいを持てる活気づくり（※コンビニ、一杯飲み屋、スナックを活用した見守り）
- ・ 高齢者が自分の得意分野を生かして子ども、大人に尊敬されるまち

- ・ 子育て支援に地域（の人）の力を活かす
- ・ 子どもが元気で暮らせる環境づくり
- ・ 子ども、ママが交流できる場の整備
- ・ 町内で子どもやママの会話が増えたらいいな

- ・ 増加するシングルマザーが働きやすい職場づくり

- ・ 健康づくりに市民が一体となれるまち

検討テーマ：なりわいづくり

- ・ 学生が多いのに仕事が無いので県外へ流出している。働く場の確保
- ・ 大学生が働く場を作り出す

- ・ 新産業をつくる（強みを生かす！外へ飛び出せ！）
- ・ 経済が活発になる

- ・ 介護関係者の処遇改善・地位向上（頑張る人が評価される社会）

- ・ 観光資源に恵まれている
- ・ 市町村合併により弘前市はタダで手に入ったもの（観光資源）を活かすべき

- ・ 弘前ブランドの構築・強化（農業等）
- ・ 思わず買いたくなるようなデザイン等に優れたりんごのお洒落なスイーツを作る

- ・滞在型観光へ（修学旅行受入）
- ・農業を身近に感じてもらう

検討テーマ：まちづくり

- ・エリアによって街の外観を統一する（城下町ゾーン、おしゃれゾーンなど）
- ・事務所ビルの空きをリノベーションして利用
- ・バスや電車の便をよくする
- ・徒歩とバスによる交通網の整備（コンパクトシティ）
- ・自転車レースの活用（健康づくり、産業、イベント、アップルロード）
- ・冬のスポーツができる場の確保

第1回市民会議(ワークショップ) とりまとめシート
20年後に向けて、今後弘前市が地域全体で取り組んでいくべきこと

B グループ

検討テーマ：ひとづくり

- ・人権が守られる社会⇒弱者への理解向上（高齢者や障害者等）
- ・子どものための保証（保障？）の充実⇒子育て環境の向上（特にサービスや施設等の公助による）
- ・若い人材の流出を防ぐ⇒まちに魅力がない、職場がない（あっても採用が少ない）
- ・農業を守るために、後継者の育成⇒農業のイメージが悪い、発信が弱い、女性不足（婚活）
- ・土いじり、園芸方法など、高齢者のノウハウ活用⇒高齢者の生きがいがづくり、グリーンツーリズム、子どもとのふれあい、世代間交流
- ・健康づくりのための食育推進⇒食と健康について子どものうちからの教育が大事、料理教室、栄養教諭の採用が少ない
- ・郷土料理を伝える（高齢者の方の郷土料理を伝えてほしい）⇒若者へ機会と知識の提供（弘前の雑煮などを山形のいものように）

検討テーマ：くらしづくり

- ・お山参詣を広める
- ・高齢者の足となるような（100円バスのようなもの）がもっとできるといいと思います
- ・無縁社会からの脱出
- ・若者向けの情報発信
- ・社会全体で支えあう仕組みづくり
- ・身元保障の整備
- ・成年後見制度がもっと周知される
- ・健康なまち（短命県脱出）
- ・市民や子どもたち、若者にスポーツが「身近になる環境」、「楽しめる環境」、「一環指導ができる環境」
- ・地域スポーツへの移行
- ・人に優しい道路
- ・わかりやすい建物、ロゴ

検討テーマ：なりわいづくり

- ・大学市場に着目
- ・元気でまだ働きたいという高齢者の働ける場所がほしい
- ・産直、売所の活性
- ・使わなくなった農地の活用
- ・農家と連携した食品開発

検討テーマ：まちづくり

- ・弘前に戻りたくなるような街づくり
- ・若者のマナーが手本となるような街マナー
- ・岩木川、河の利用
- ・弘大病院の医療、利用しやすさ
- ・エコなまち

第1回市民会議(ワークショップ) とりまとめシート
20年後に向けて、今後弘前市が地域全体で取り組んでいくべきこと

Cグループ

検討テーマ：ひとづくり

- 子ども
 - ・子どもを元気にするために、子ども会の育成、遊び場の確保
 - ・部活に入っていない中学生はぶらぶらして非行に走りやすい
- 教育
 - ・子どもたちの人権が守られ、心豊かで健やかに成長できるまち
 - ・コミュニケーション能力を高める

検討テーマ：くらしづくり

- 子育て
 - ・子育て家庭の負担軽減
- 雪対策
 - ・冬場でも街中に人が集まる（交通面の改善）
 - ・地域の人々が高齢者世帯を手伝う、行政だけに任せない（若者が働かない。高齢者ばかりが苦勞している）
 - ・高齢者世帯の除雪
 - ・雪降ろし対策
- 伝統・文化
 - ・伝統芸能の次世代への継承のあり方
 - ・各地域の隠れた歴史の紹介
 - ・歴史や伝統を尊重し、市民文化が創造されるまち
- コミュニティー
 - ・人口減少に伴う町会の合併
 - ・ご近所づきあいをもっと濃く（例：災害時の高齢者の支援、多い大学生の一人暮らし）

検討テーマ：なりわいづくり

- 観光振興
 - ・隠れた地産品の発掘・PR活動
 - ・さまざまな観点からの観光事業の強化
- 高齢者の消費してもらええる商売の開発（旅行、買い物、御用聞き）
- 社会的ハンデを抱える人の就業促進
- 農業
 - ・高齢化に向かって、農業体制の見直し
 - ・魅力ある農業の発想
 - ・地域の法人化等

検討テーマ：まちづくり

- 環境
 - ・地域の生態系と景観に配慮したまち
 - ・緑を大切にし、地球温暖化対策に取り組むまち
- 景観
 - ・景観を損なう建物を建てない（弘前らしさを残す）
 - ・いい街＝住みたい街
- 防災
 - ・具体的な取組
 - ・地域の連携
 - ・防災無線の普及
- 空き家対策
 - ・取り壊しの支援や活用する仕組みづくり
- 学生が活動できるまちづくり
- 恒久の平和・安心と安全を実感できるまち

第1回市民会議(ワークショップ) とりまとめシート
20年後に向けて、今後弘前市が地域全体で取り組んでいくべきこと

Dグループ

検討テーマ：ひとづくり

- ・ 民度の高い市民づくり
- ・ 育てた子ども達が弘前に残れるような受け皿が必要（教育の現場で大切に育ててもも…）
- ・ 自己肯定感・自立心・生きる力・地元愛を育む人材育成
- ・ 地元弘前が好きな市民づくり

- ・ 国際化に向けては英語力、考える力のある子どもや若い人材をつくる
- ・ 子育てに関しての家族関係の変化への対応（今の親が荒れている心をどうするか）

検討テーマ：くらしづくり

○暮らし方

- ・ お金のかかり過ぎない市民生活ができる術（共働き→少子化）
- ・ 「もったいない」の精神→環境を汚さず使用する
- ・ 伝統文化を大事に 行政支援は大切

○家庭・子育てに対する支援

- ・ 育児とお仕事の両立（働き方の見直し）
- ・ 子育て環境を考える
- ・ 子育て支援の充実、手当を増やす
- ・ 子どもたちがのびのびと育っていけるような環境づくりをしていく

○高齢者への配慮

- ・ 一人暮らしの高齢者を市がケアしていく必要（市役所の中に）
- ・ 雪片付け隊（利用チケット制を高齢者一人暮らしの方へ配布）

・ [参考]盛岡での取組：JR 入社一年目社員に、生活・仲間づくりに役立つイラストマップを作ってもらった

【ひとづくり+くらしづくり】

○地域コミュニティ

- ・ 集約できる行事は集約して、人とのつながりと交流を増やす
- ・ 地域の人とのコミュニケーションを取る
- ・ コミュニティ（町内会？）の復活、交流の増加
- ・ 自治会のなり手が少ない

○多世代交流

- ・ 多世代交流する機会を演出する
- ・ お年寄りと子どもが気軽にお話できる機会をたくさん作りたい
- ・ 高齢者が若者を育ててあげる、導きが必要
- ・ 子どもが社会参加できる機会を増やす
- ・ 地域文化を子どもたちに伝える時間を増やす・作る
- ・ 高齢者が参加する機会を増やす（居場所も）

検討テーマ：なりわいづくり

○農業

- ・自給率 100%宣言
- ・農業のシステムの転換（株式会社化？）
- ・林檎に代わる農作物の開発
- ・20年後気候変動が予想される中でりんごづくり・米づくりが今までのようにできるのか（⇒弘前市に研究機関を）
- ・独立行政法人化等で資金不足を市民の手に委ねているが、お金をどこからか

○にぎわいづくり、商業等の活性化

- ・土手町から弘前公園への大きなひと括りとしての祭計画
- ・土手町で、夜遅くまで店を開く日を設ける

○若者の活用

- ・弘前市が活発な街になるよう、若い人材を中心に活動していく
- ・若者が地元で就労したくなるようなまちづくり

検討テーマ：まちづくり

○公共交通

- ・市内の交通環境の充実（自家用車の利用抑制、バス等の有効活用）
- ・交通の便がよい公共交通の充実
- ・JR 奥羽本線の複線化、弘南バス路線の見直し（新幹線が来ても…）
- ・公共交通の利用を増やす（分散しないように）

○美しいまちづくり

- ・エリアを選択できるような街づくり（それぞれのライフスタイル）
- ・景観を大切にしたい
- ・街中の自然を大切にしたい
- ・ダウンタウン、旧市街地の見直し